

HOT NEWS

雲仙復興事務所

平成25年 9月25日

自治体職員等も対象に TEC-FORCE報告会を開催

発信元

雲仙復興事務所
砂防課 氏名 長田茂美

入江隊員の報告



入江専門員(雲仙復興事務所 砂防課)
派遣期間: H25.7.29~8.5
活動箇所: 山口県萩市 田万川総合事務所管内

神崎隊員の報告



神崎専門員(長崎河川国道事務所 道路管理第二課)
派遣期間: H25.8.5 ~8.10
活動箇所: 島根県鹿足郡津和野町 県道13号

報告者(二人)の派遣後のコメント
・ルート図や迂回路図があるといい
・現地では、元の構造(擁壁?盛土?)が不明の場合があった
・横断面が無かった
・平面図は1/1000より細かいものを
・県独自の総合単価が有ったので概算金額が早く計算出来た
・気象観測が開始されてまだ短い、災害はいつ、どこで、どのように発生するか判らない等

平成25年9月3日に、平成25年7月の山口・島根豪雨にTEC-FORCE隊員として派遣された隊員からの報告会を実施。

当日は、長崎河川国道事務所から道路班として派遣された神崎隊員(長崎3名派遣)に来て頂いて当事務所の入江隊員と2人で、**島原半島の3市と長崎県、工事施工業者**を含む総勢34人に、派遣までの経緯や活動内容、被災地の状況を取りまとめた資料や現地写真で説明しました。また、豪雨後の溶岩ドーム挙動観測結果についても説明。

報告会にはテレビ局1社と新聞2社が取材に訪れ翌日テレビ放映もされました。報告会後の自治体職員へのインタビュー報道では、「知識がある(TEC-FORCE)隊の存在を知ることができて心強い」とのコメントもありました。

若手職員からは、いつか「自分も派遣されたい」との意見も上がりました。

最後に、TEC-FORCEで派遣された全隊員の皆様、後方支援された局・事務所の皆様、お疲れ様でした。

聴講の様子



TV報道

個別インタビュー状況

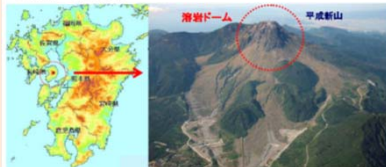


知識がある(TEC-FORCE)隊の存在を知ることができて心強い(雲仙市職員のコメント)

報道・工事施工業者に対して 豪雨後の雲仙普賢岳溶岩ドームの挙動観測結果について説明

雲仙普賢岳 溶岩ドームについて

●溶岩ドームの位置



●溶岩ドーム全景(北側斜面)



溶岩ドーム=ねばりけの強い溶岩の噴出によってできる火山体。今も山頂に不安定に状態で存在しています。

雲仙復興事務所では、雲仙岳測候所において連続雨量200mmを超える雨量を観測した時には、溶岩ドーム挙動観測結果の公表を行っています。9月3日(当日)記者発表した「8月29日~9月1日豪雨後の溶岩ドーム挙動観測結果」と「8月4日豪雨後の観測結果」を施工業者等に説明しました。

今回は土砂移動がありました。

目床調査課長の説明

